



決算説明会

第30期（2019年2月期）

株式会社グラファイトデザイン
7 8 4 7

2019年 4月 17日（水）



免責事項

本プレゼンテーション資料に記載されている株式会社グラフィックデザインの今期の事業内容に関する記述、将来の数値、各種グラフなどは弊社における将来の見通しを示すものです。当該資料の作成にあたっては、経営部門が入手した情報に基づく予測及び判断を基礎としております。

したがって、これらの実現については、弊社が継続して事業を展開する上で不可避の潜在的リスクである、経済状況、新サービスの成否、他社との競争状況などの不確実性を含んでいます。

本プレゼンテーションにおいて使用されている商標は、関係各社の保有する登録商標または出願商標です。



1. 2019年2月期の実績

(財務ハイライト)



2019年2月期の実績

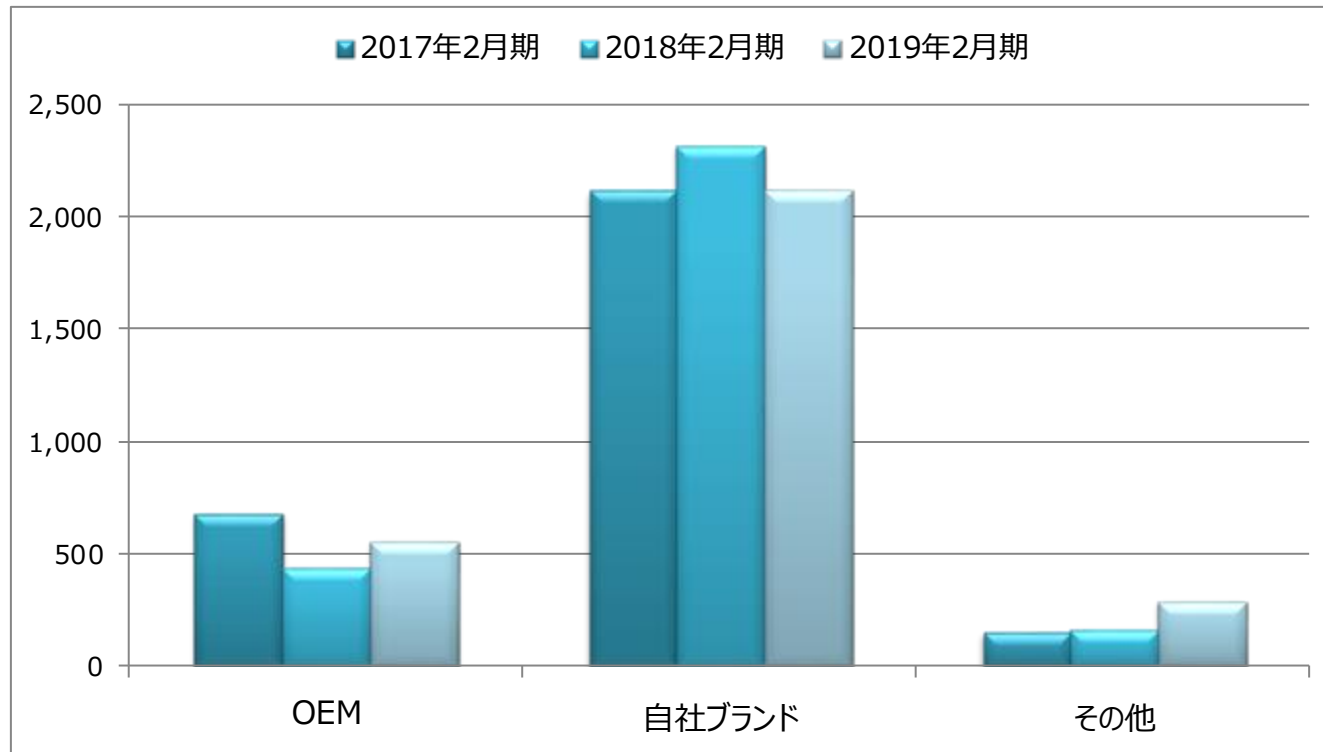
(百万円)

	2018年 2月期	構成比	2019年 2月期	構成比	前期比 増減率
売上高	2,921	－	2,965	－	1.5% 増
営業利益	414	14.2%	356	12.0%	14% 減
経常利益	400	13.7%	376	12.7%	6% 減
当期純利益	257	8.8%	249	8.4%	3% 減



売上構成（実績）

（百万円）



	OEM	自社ブランド	その他	計
2017年2月期	680	2,118	148	2,946
2018年2月期	441	2,316	164	2,921
2019年2月期	553	2,122	290	2,965



貸借対照表

(百万円)

科目	2018年2月	2019年2月
資産の部		
流動資産	4,309	4,341
固定資産	1,039	1,118
有形固定資産	784	853
無形固定資産	29	34
投資その他の資産	225	229
資産合計	5,349	5,459

総資産	5,349	5,459
純資産	4,361	4,451
自己資本比率	81.5%	81.5%

科目	2018年2月	2019年2月
負債の部		
流動負債	747	730
固定負債	241	277
負債合計	988	1,008
純資産の部		
資本金	589	589
資本剰余金	582	582
自己株式	-456	-456
利益剰余金	3,648	3,750
株主資本合計	4,364	4,466
評価・換算差額等合計	-3	-14
純資産合計	4,361	4,451
負債・純資産合計	5,349	5,459



2. 2019年2月期の通期見通し

(業績見通し)



2020年2月期業績見通し

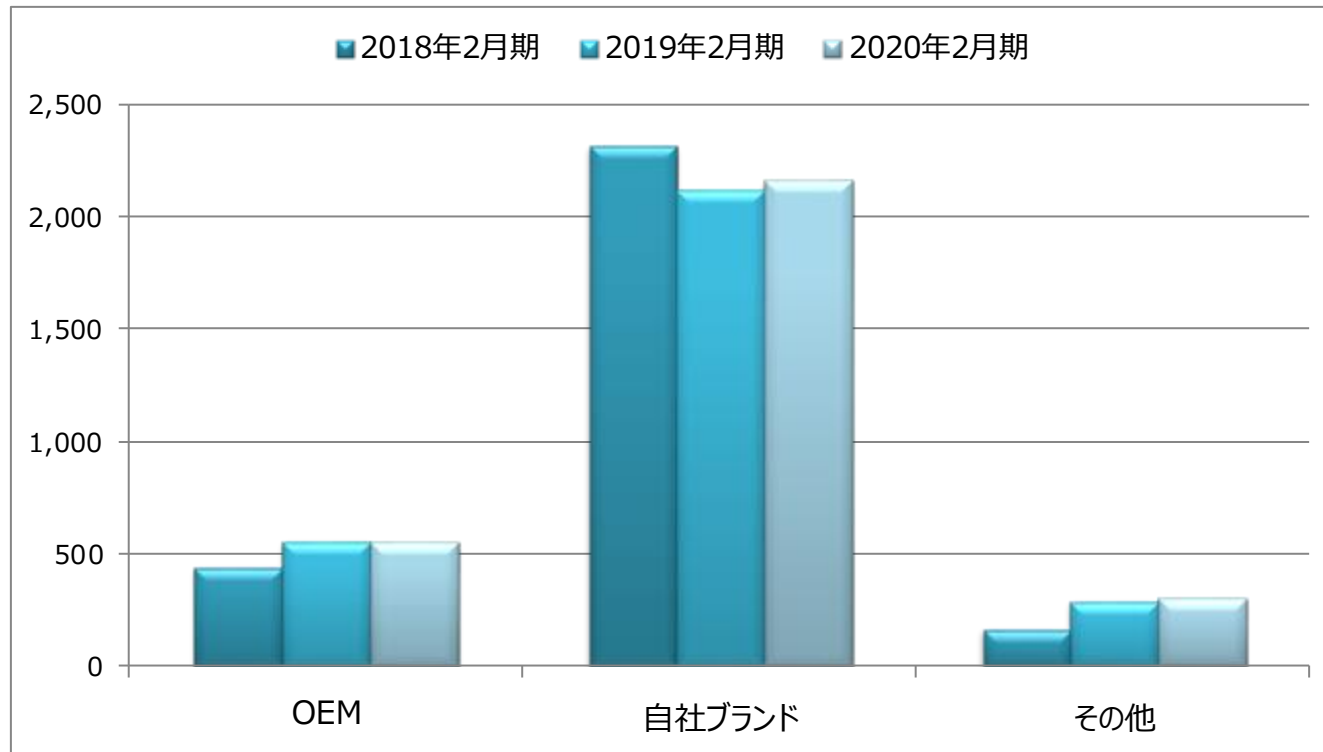
(百万円)

	2019年2月期				2020年2月期 予想				対2019 増減率
	上期	下期	通期	構成比	上期	下期	通期	構成比	
売上高	1,400	1,565	2,965	—	1,415	1,594	3,009	—	1.5% 増
営業利益	80	276	356	12.0%	106	254	360	12.0%	1.1% 増
経常利益	105	271	376	12.7%	105	253	358	11.9%	4.8% 減
当期純利益	66	183	249	8.4%	68	182	250	8.3%	0.4% 増



売上構成（見込み）

（百万円）



	OEM	自社ブランド	その他	計
2018年2月期	441	2,316	164	2,921
2019年2月期	553	2,122	290	2,965
2020年2月期	550	2,159	300	3,009



業績の推移

(百万円)

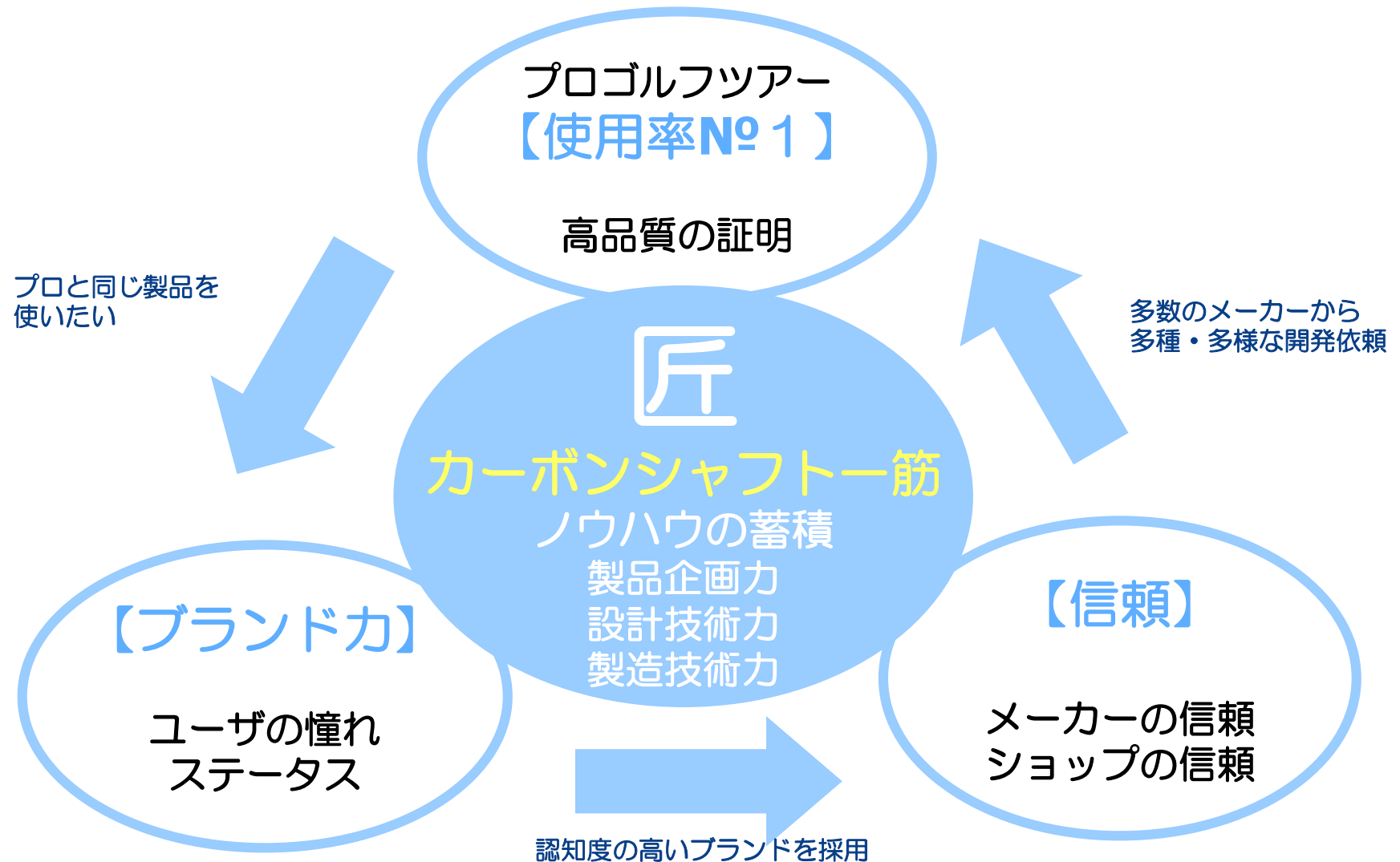




3. 現状と今後の展開

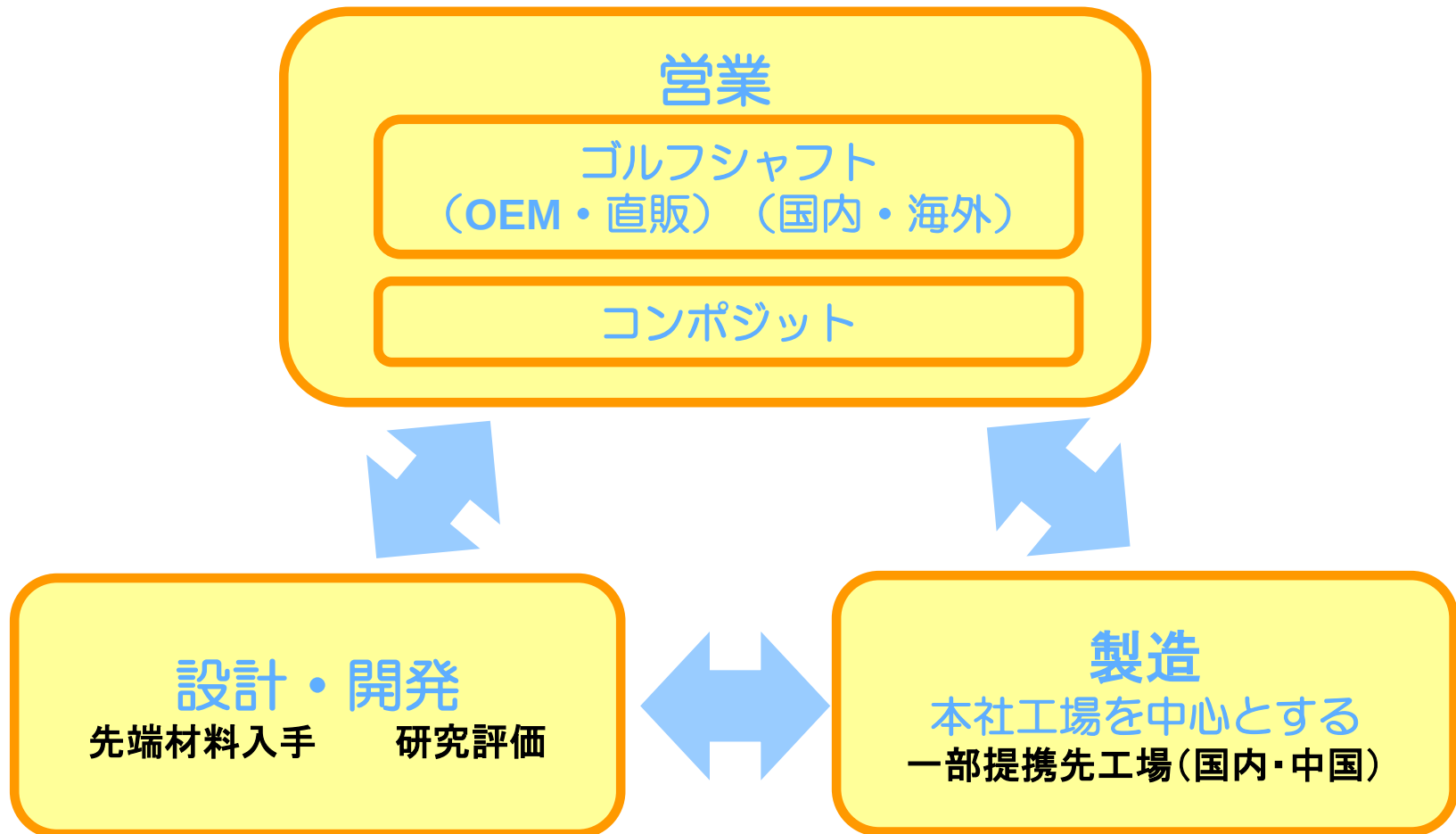


当社の強み





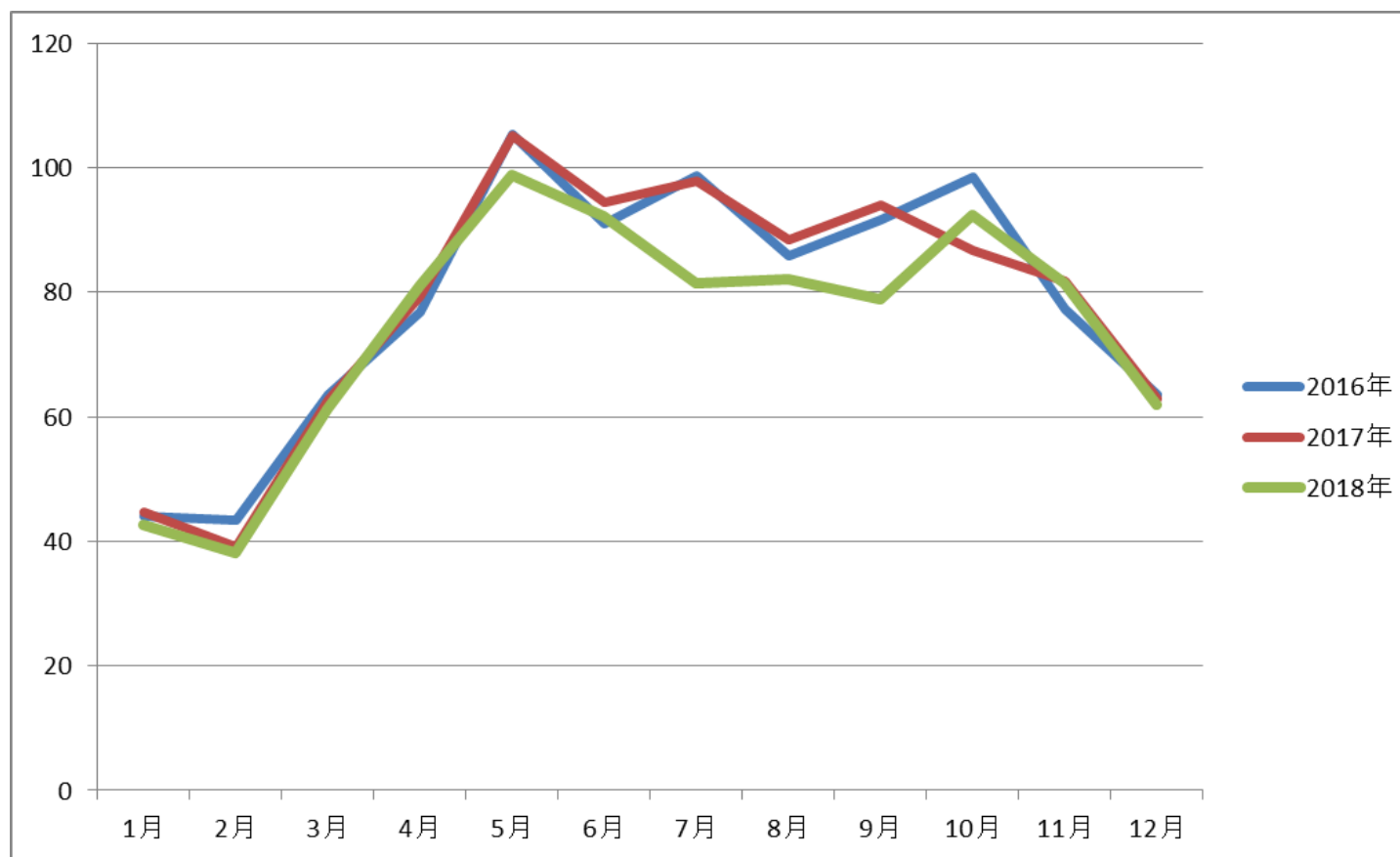
体制





ゴルフ市場動向（１）

— ゴルフ場入場者数比較 —



（資料：特定サービス産業動態調査：経済産業省）



ゴルフ市場動向（２）

— 2018年度のゴルフ市場状況 —

※ゴルフ用品全体が増加

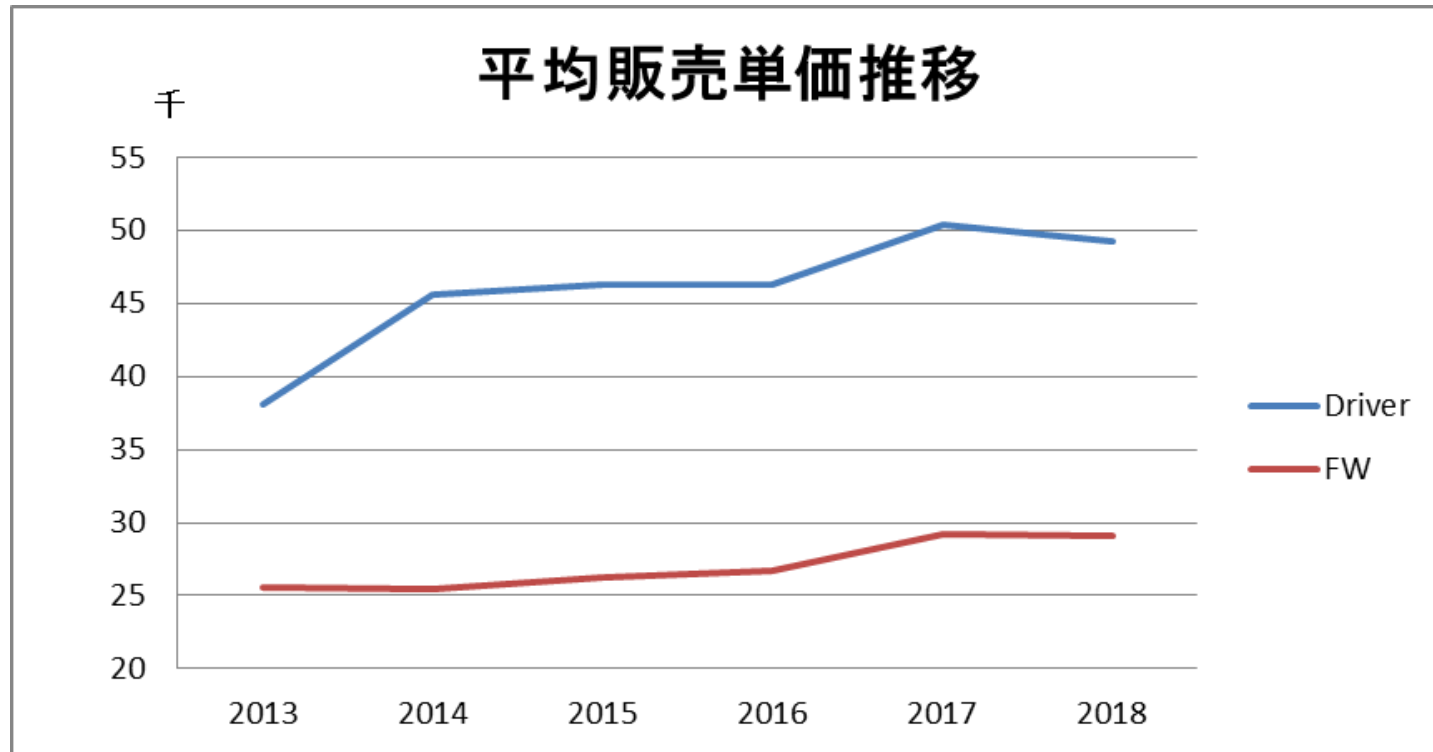
	前年同期比
ゴルフ場入場者数	95.3%
ゴルフ用品全体の販売金額	97.8%
ゴルフクラブ販売金額	99.5%
ゴルフ消耗品販売金額	94.4%

【 ゴルフクラブの 前年比 】

品種	販売数量	販売金額
Driver		
	107.7%	101.7%
Fairway wood		
	104.6%	102.4%



ゴルフ市場動向（３）



・クラブ価格適正化の波は継続



ゴルフ市場動向（４）

【ゴルフ市場活性化のための業界の取り組み】

1. R&AとUSGAが「ゴルフ規則を近代化するための変更」（ルールの簡素化） 2019年より施行
 - ・各種罰則の免除や軽減
 - ・グリーン・バンカーの規制緩和
 - ・ピンを立てたままでパッティング可による プレーファースト促進 など
2. 新規ゴルファー創出・プレー機会の増加
 - ・新規ゴルファーの参入促進、育成
 - ・ゴルフへの間口を広げる（ゴルフ場のひとり予約の拡大）
3. 各クラブメーカーによる「高反発クラブ対応」
 - ・飛距離の落ちたシニア層の繋ぎ止め（あえてルール非適合）
4. 高反発ボールの市場拡大（非公認及び公認）
 - ・量販店が非公認の飛び系オリジナルボールを発売

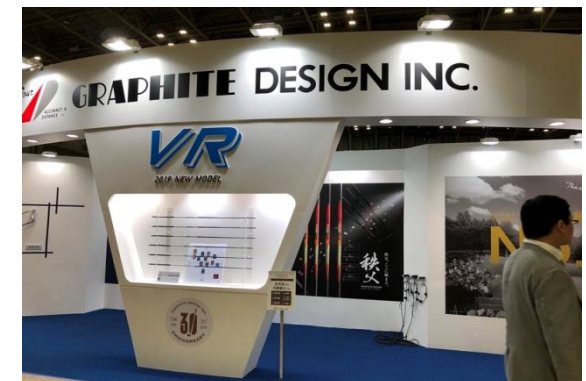
※ USPGAツアー、日本開催（2019.10.24～習志野カントリークラブ）

※ 2020東京オリンピックで、ゴルフが競技種目



シャフト事業の今後の展開

1. 国内ツアー使用率No. 1 を維持
 - ・ブランド地位を一段と強固に！
2. 新製品開発
 - ・毎年 1 モデルの主力製品を発売
 - ・プレミアムゾーンのリシャフト専用シャフトの継続開発
 - ・第3のブランドを企画開発中
3. ブランド力を生かした更なるシェア拡大
 - ・リシャフト市場の拡大
(各施策による販売店満足度向上⇒GDシャフト発注数UP)
 - ・他業種とコラボした販促活動
4. 海外展開
 - ・アジア市場への拡販
 - ・米国プロツアーへのアプローチ強化
 - ・フィッティングビジネス市場拡大への対応



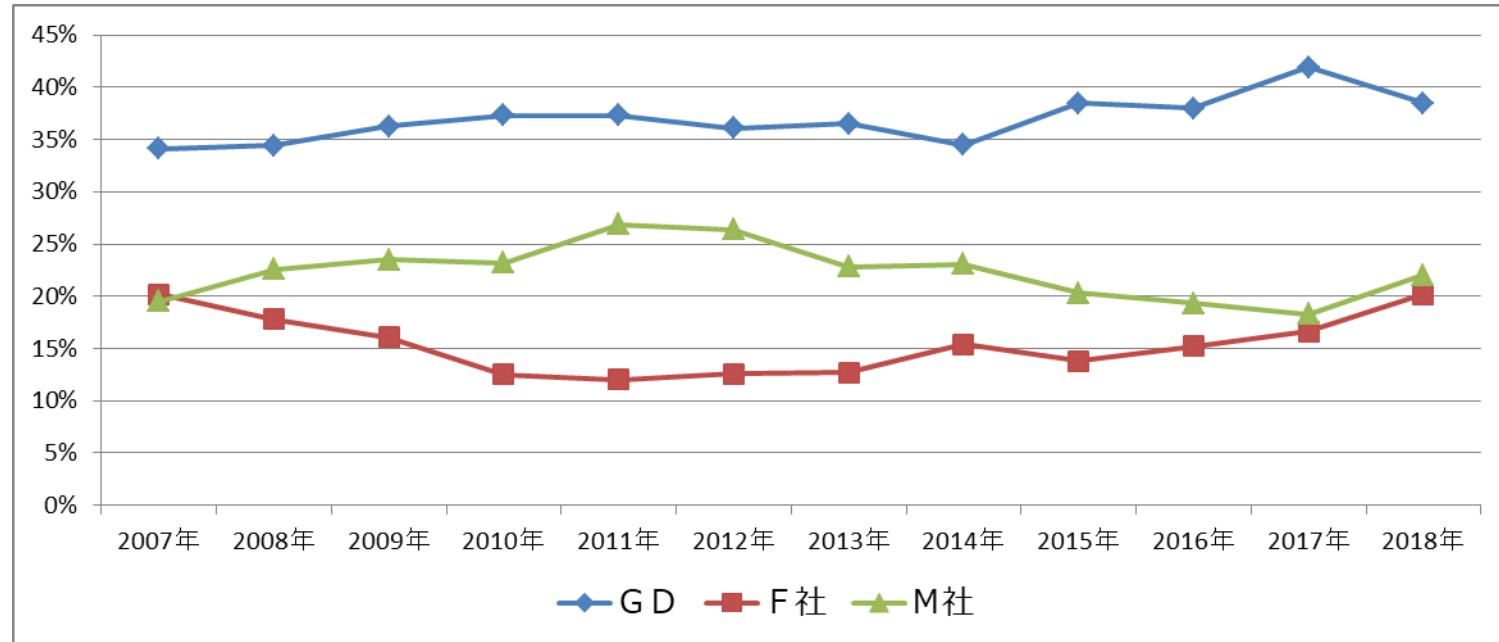
使用率上昇

GRAPHITE DESIGN INC.



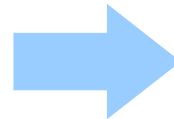
国内ツアー（10年間の推移）

日本プロツアー 全Wood Shaft使用率（男子）



（資料：ダレルサーベイ社）

- ・品質における信頼性の構築
- ・ブランドの確立が 強固

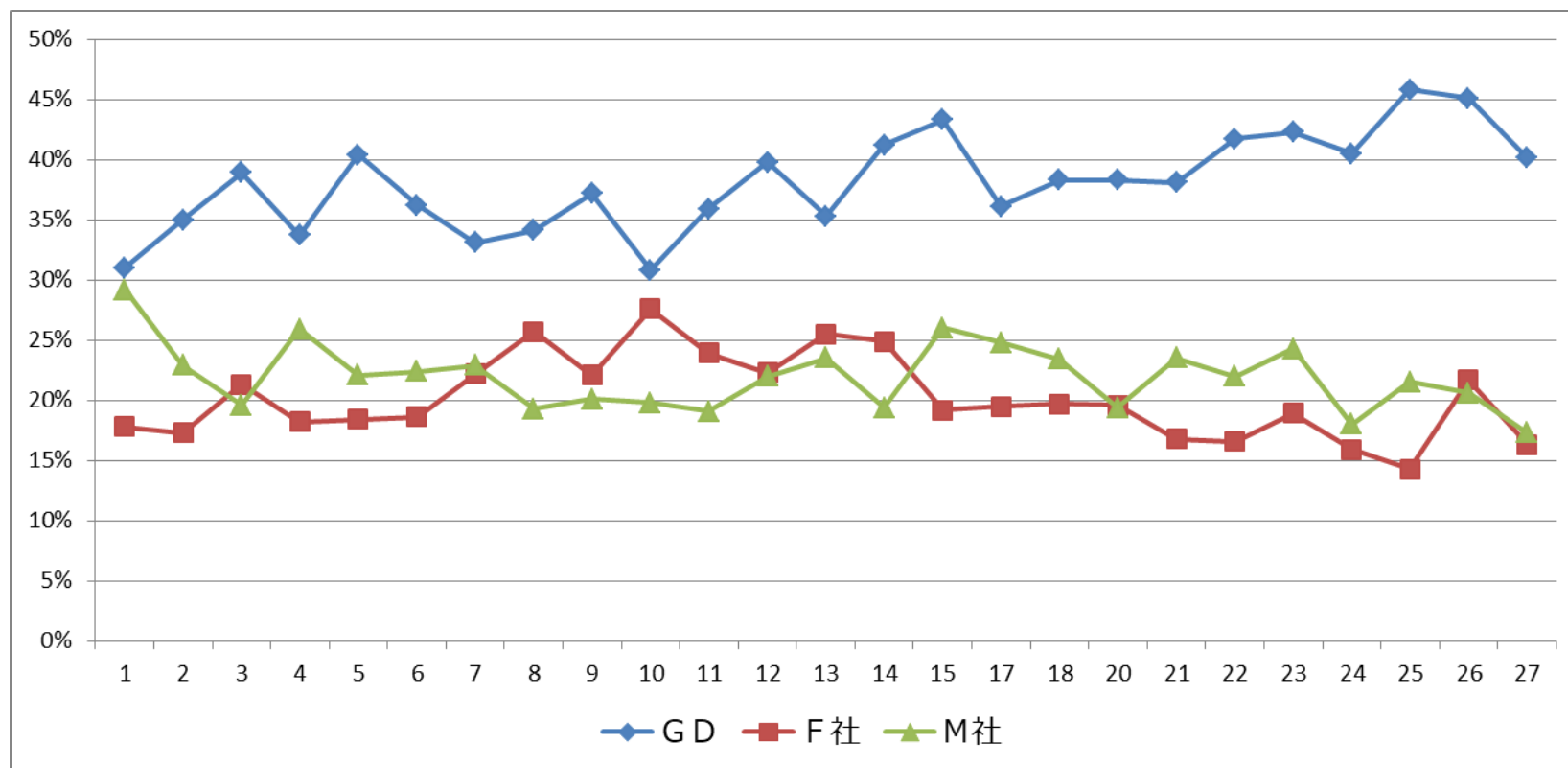


- ・カスタム品販売拡大
- ・リシャフト市場での販売拡大



国内ツアー（2018年度）

2018年度日本プロツアー 全Wood Shaft使用率（男子）



（資料：ダレルサーベイ社）



自社ブランド（2019モデル）

— Tour AD 2019モデル VR —



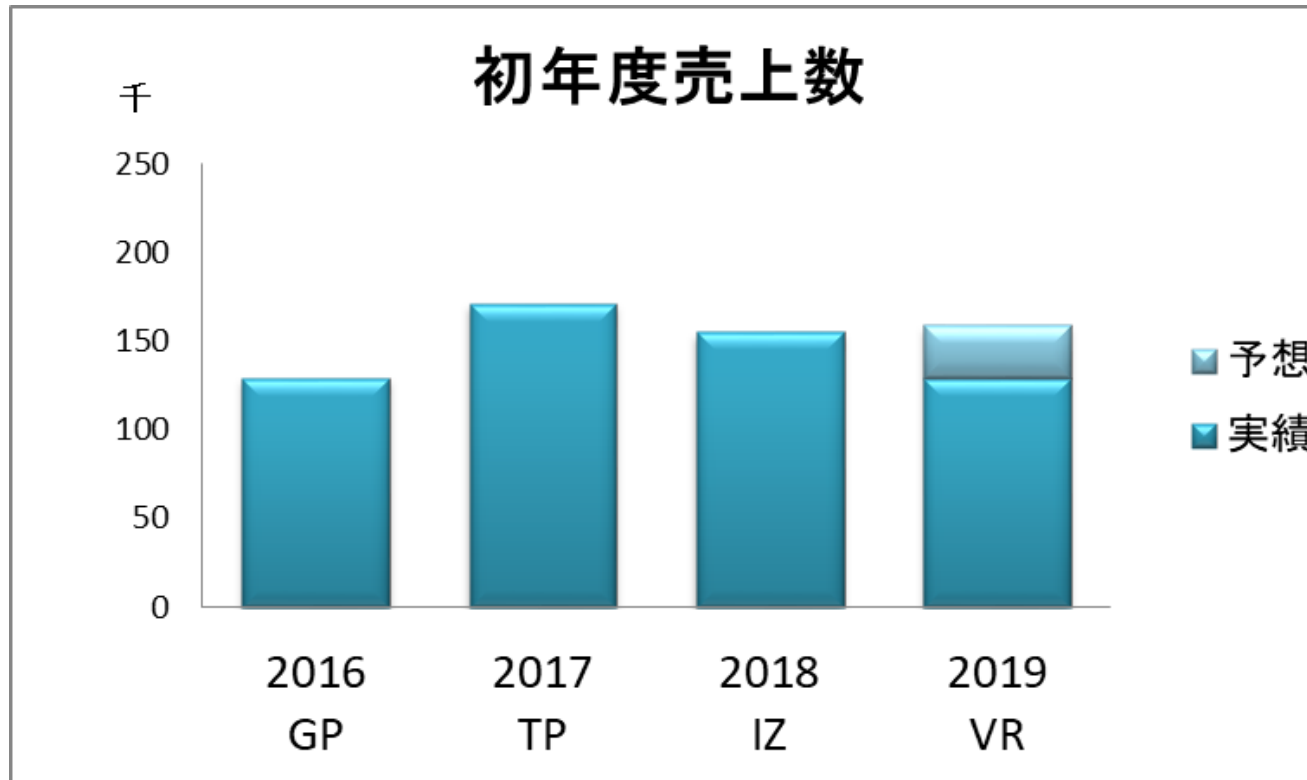
VR

【Vanquish all Rivals】
すべてのライバルに打ち勝つ！

プロ使用率の高いPTとTPの
特性を踏襲



自社ブランド 販売状況



※販売開始から1年間の実績（8月～翌7月）

2019モデル「VR」

2018モデル「IZ」と同等な水準で推移



自社ブランド

【リシャフト向けプレミアムゾーンの製品（秩父）】



試打会での評判良好（飛距離UP！） 口コミで広がりを見せている

※UT・アイアン用を 2019年4月に発売！

（WoodからIronまで全て揃う）



自社ブランド展開

Wood

TOUR AD GRAPHITE DESIGN AD VR-6 FLEX S

ラインナップ

VR I Z
MJ MT
DI DJ

Utility (Hybrid)

- ・ 米国での需要が高まる
アンから
yへ

Iron

軽量からスチールライクまで対応

軽量シャフト(40g台)

TOUR AD GRAPHITE DESIGN AD VR-4 FLEX S

プレミアムゾーン

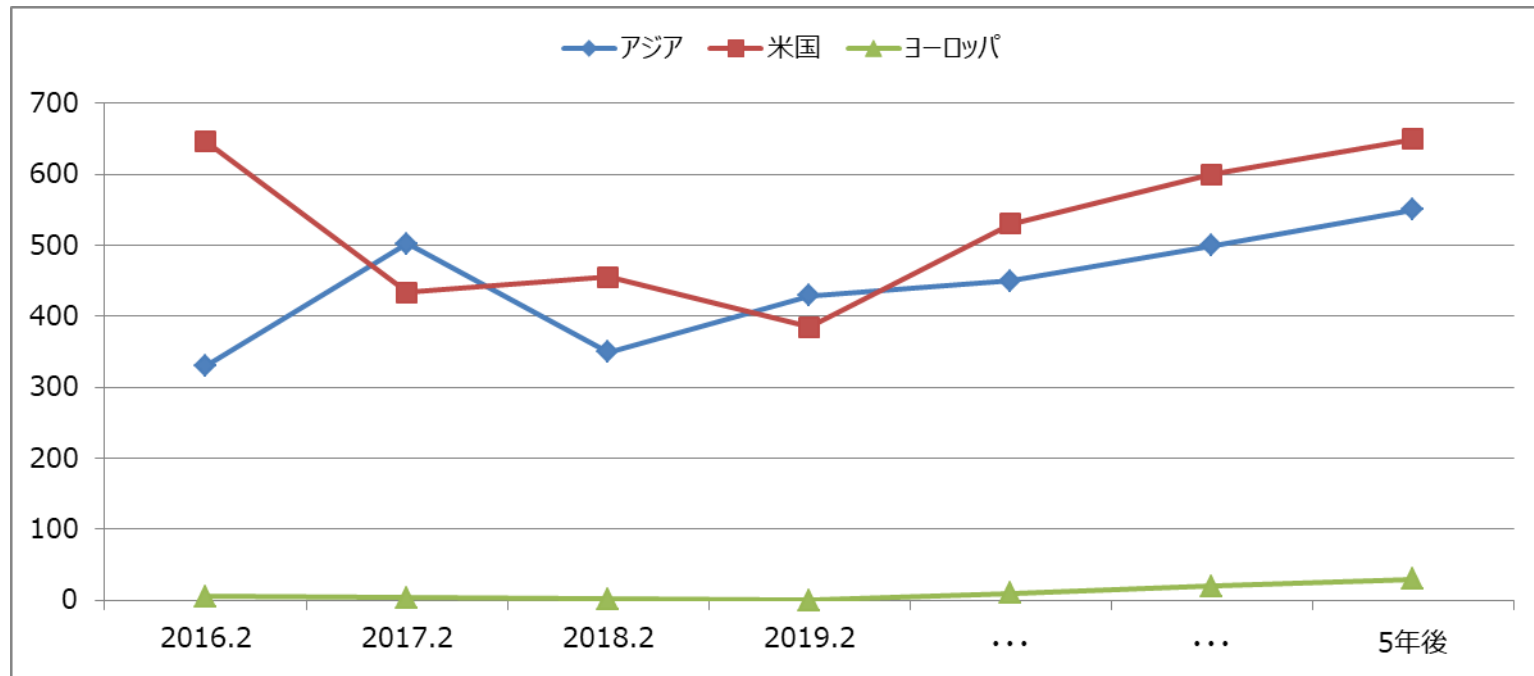




海外売上推移

海外地域別売上推移イメージ

(百万円)



注) O E M及び自社ブランドのすべての売上が対象

※ T o u r A Dのブランド力を浸透させて自社ブランドの拡販に注力



テストセンター活用

テストセンターの活用による 販売促進

ハイスピードカメラ



試打ロボット



レーザー弾道測定機



GRAPHITE DESIGN INC.

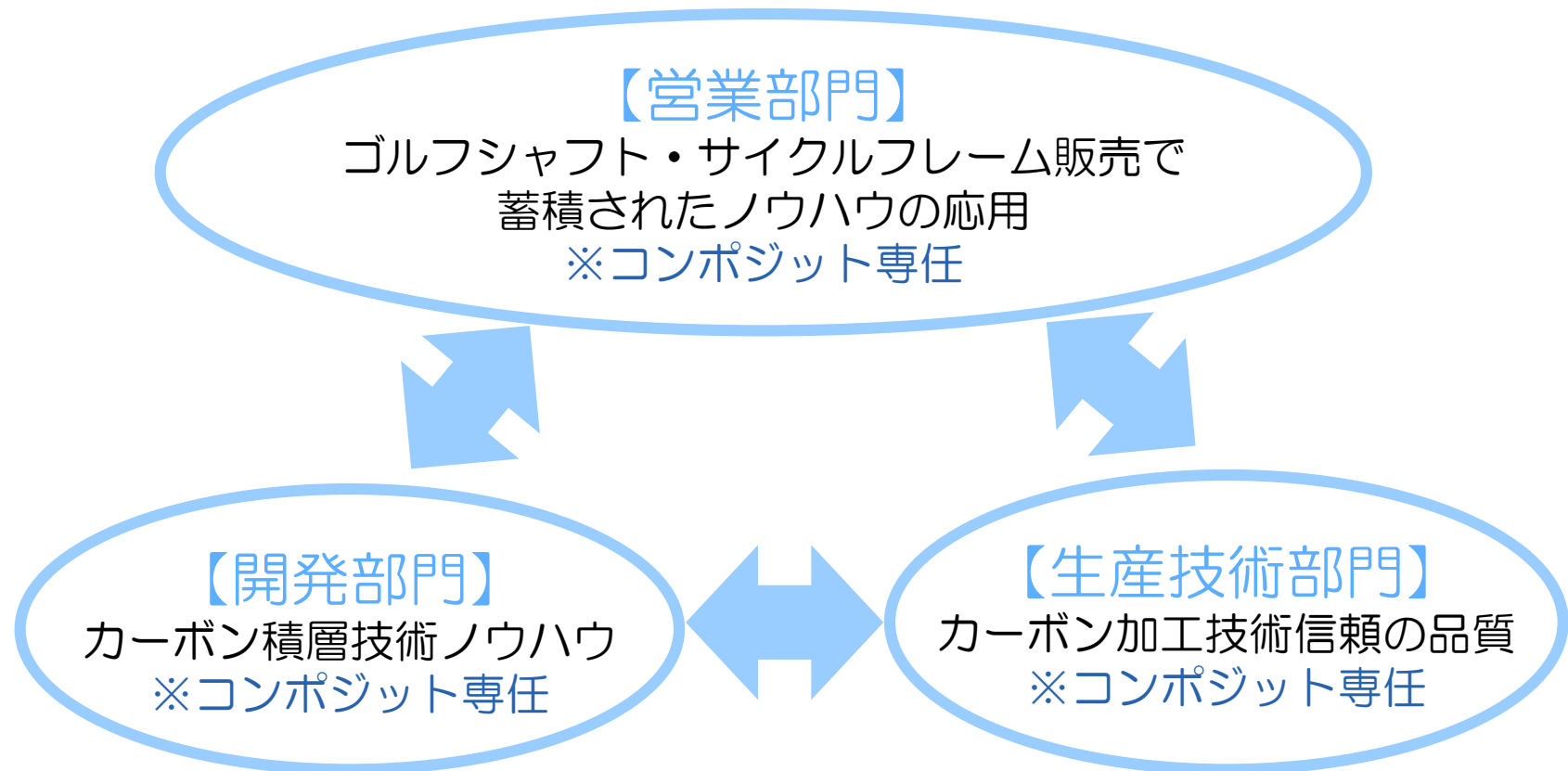
【新分野開拓】





コンポジット

— 各部署にコンポジット専任を配置 —

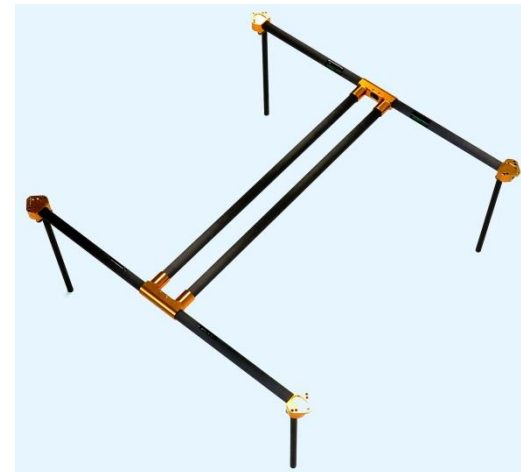


※各部門のノウハウを集結しつつ、コンポジット専任体制でスピードアップ



採用実績（１）

- 自動車関連
オプションパーツ（ストラットタワーバー他）
- 日用品関連
文具等
- ドローン関連
ドローン用C F R Pフレーム他
- 産業関連
ロボット用パイプ等
- その他多分野





採用実績（２）

●陸上競技用やり

— “カーボンレイアップテクノロジー”を投入した、CFRP製の陸上競技用やり —

4月発売 （株式会社ニシ・スポーツとの共同開発）

NF450 やり Super GD Carbon Type I



NF450 やり Super GD carbon Type II



●カーリング

— 世界最軽量カーボンハンドル — （カーリングブラシ用ハンドル）

ice Magic



（株式会社イシダスポーツにて販売）

GRAPHITE DESIGN INC.



パイプ製品加工技術の研究開発

【カーボンパイプ特殊加工】

・異形パイプ加工の研究・試作

楕円パイプ

角パイプ

曲げ加工

太径パイプ

細径パイプ

※十数社と取引

※幅広い産業分野への展開目指す

【新規プロジェクト】

- ・カーボン加工技術の向上
- ・カーボンの可能性を追求
- ・技術力の発信





展示会参加（取引先開拓）

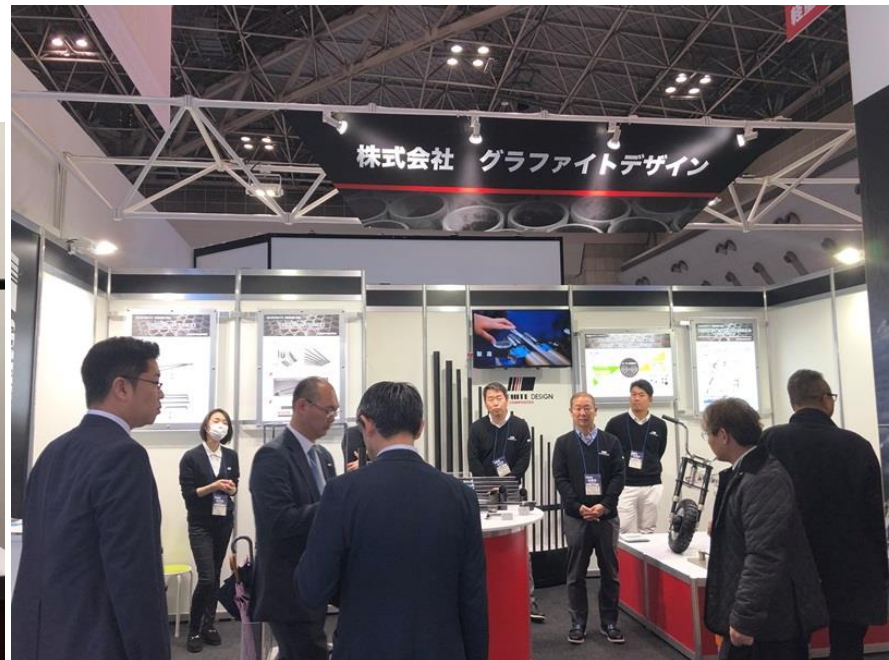
2013.6 出展開始

2018.6 機械要素技術展（M-Tech）に出展

2019.2 機械要素技術展（M-Tech）に出展(ブース拡張)

2019.9 sampe先端材料技術展2019に出展予定

- ・新たな業界との取引開始
- ・OEM供給開始

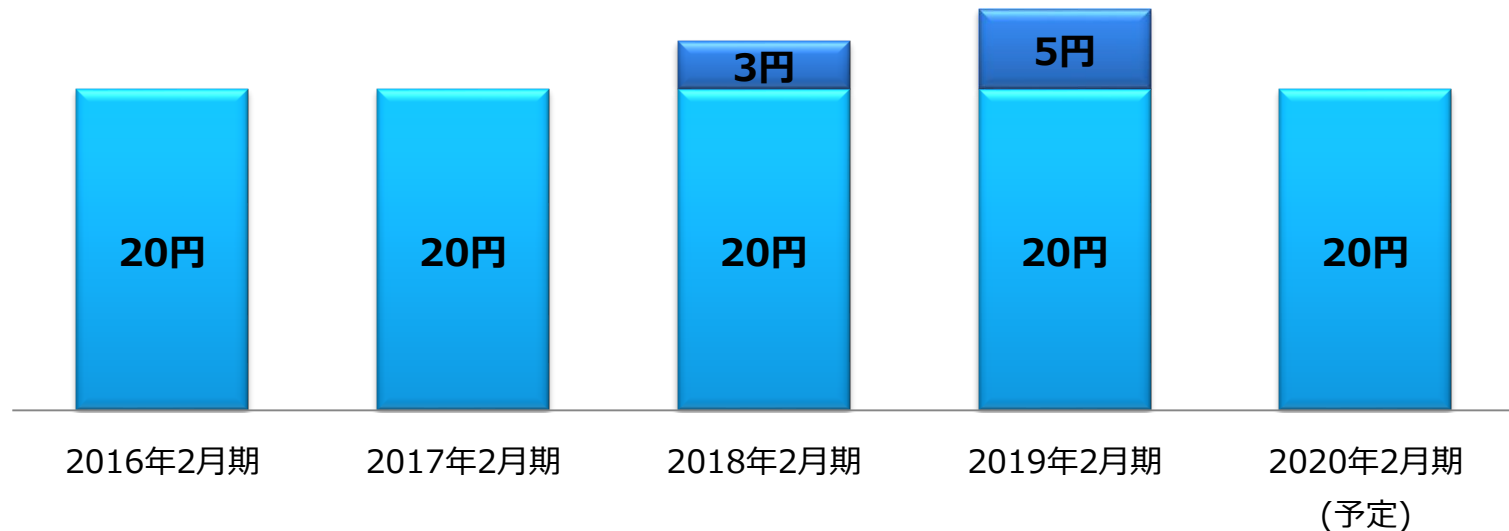




配当

配当金は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していきます。

■ 普通配当 ■ 特別配当



配当性向 : (797%) (51.8%) (57.3%) (64.3%) (51.4%)



本日は、ご清聴ありがとうございました。
今後とも、宜しく御願いたします。